

南条殿女房御返事

弘安元年五月二四日 五七歳

八木二俵はちぼく送り給おわび候たびたびひ了おわんぬ。度々の御志申し尽くし難く候。

夫水は寒積れば氷となる。雪は年累かさなって水精すいしょうとなる。悪積れば地獄となる。善積れば仏となる。女人は嫉妬かさなれば毒蛇となる。法華經供養の功德かさならば、あに竜女があとをつがざらん。山といひ、河といひ、馬といひ、下人といひ、かたがた艱か難んなんのところに、度々の御志申すばかりなし。御所労の人の臨終正念・靈山浄土疑ひなかるべし。

五月二十四日

日 蓮 花 押

御 返 事